

社会教育事業『社会をつくる「若者のチカラ」』を開催しました

7月と8月の全3回、高校生・大学生世代の青少年を対象にした社会教育事業『社会をつくる「若者のチカラ」』を実施しました。社会課題をワークショップ形式で楽しく学び、シチズンシップ（市民性）を高めること等を目的としたプログラムです。

1日目は、「在日外国人」について考えるために、難民申請中のミャンマー人一家に関する映画「僕の帰る場所」を鑑賞し、鑑賞後に映画監督である藤元明緒監督に、参加者が様々な質問をしていく内容でした。また、子どもの権利に関して楽しく学べるゲーム形式のワークショップを行いました。

2日目は、自分の興味ある社会課題と、自分が「好きなこと・得意なこと」を組み合わせ、社会貢献活動に取り組むためのアクションの起こし方、目標のたて方などについて学びました。

3日目は、自分が起こすアクションについての経過報告、夏休み中に取り組んだこと、今後の展望などについて発表しました。

世界の社会課題に向き合い、よりよい社会づくりに貢献する力、未来を考える力などを醸成するプログラムとなりました。

